

## 陸域観測技術衛星ALOS (だいち) がとらえた北海道洞爺湖周辺 (2)

データ提供：財団法人リモート・センシング技術センター

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

陸域観測技術衛星ALOSに搭載された3種類のセンサのうち、AVNIR-2とPALSARがとらえた洞爺湖周辺の画像を並べてみました。左側はAVNIR-2が観測した光学センサ画像（トゥルーカラー画像：地上分解能10m）、右側はPALSARが観測したマイクロ波画像（Lバンド、HH偏波画像）です。PALSARは昼夜全天候型観測が可能なマイクロ波センサです。AVNIR-2から得られる光学センサ画像と比較すると、PALSAR画像では羊蹄山や尻別岳の山頂部が右側に倒れこんで見えます。これはマイクロ波の斜め照射に伴って発生する「レイオーバ」と言われる画像幾何学的歪です。マイクロ波画像は、各種災害時の被災状況把握、リニアメントの判読、地形・地質構造の分析支援等に利用されています。地球観測センサの種類が多様化する中、光学センサ画像とマイクロ波画像の単独利用はもとより、融合利用面での研究成果に期待が寄せられています。

